がんばろう

津波なんかに 負けない!

の感

第 謝

す

2

を回

開町

き民

的 3 的

ま

文

ま

第371号 令和7年11月20日 末崎まちづくり 協議会

ご祭のし月

す 考

文の

スた18今

 \mathcal{O}

電話 (F 兼) 29-2955

あ

IJ

が

とうご

ざ

11

ま

L

民

文

化

祭

 \mathcal{O} \mathcal{O}

でしむ務

れ

梅神



形震 成災 成された た新 梅し 神く 地住 域宅 が

今回は梅神地域(75 ふるさと散歩も後半に入り、 世帯)。このシリーズも残り4割となった。まず 公民館から小友境までひたすら県道を南へ。公民館を 通りすぐの所の高台から、海面がキラキラの門之浜湾 が目に入った。普段、この通りは、車でなにげなしに か日にハッに。 1 通り抜けてしまう。とは言うものの、小山 こいカーブの連続。 7カ所ぐらいあったかな? とは言うものの、小田と同じぐ 沿道に は民家のほか、黒色を基調とした洋風の建物。 外国人が営む ZUMBA (英語塾・健康運動ジム) バス観光事業社がある。梅神は東日本大震災で海岸 近くにあった住宅は全壊流失。今は再建され、JR 大 船渡線 (BRT) と県道に挟まれた段々状の敷地に「新 興住宅」が生まれた。さらに県道の上にも新しい家が 並ぶ。小友との境界付近の山の中に三猿神社がある。 地元では親しみを込め、「みざる様」と呼ぶそうだ 館長の小松誠さん (70) は「震災を機に新しく転入 された方もおり、地域内の融和を図りたい。高齢化が 進み、交通事故防止にも取り組みたい」と力を込める。 次回は小河原 (Π)

申

S

る

さ

لح

タ

場

月 込

9 曜

 $17\pm$

時曜

日

時 日

(5 2

と

話

L

合

う

日

班選テ

Š

1

自

分

が 7

関

班わ会

成た室

V

2

階

議

演

題

ならなし

いよ

たう

め症

にに

]

編 り

を

場

と

タ

18月

る30目

さ分へ

セ20

ン時

場

ふ 和る

室

さとセ

タ

(水

た作くとうのづた げ点ご 皆品だ撤こ人くこ文まは迷 さをさ去とがりと化す。 こうござ に 胎を 提 る 提 る た さ ん す。 運 日年 営 で携のは祭 深 を は 供た業 すわた フ ち19町 を < お 初 づく 本し 方に つめ末通 おか 月民 当にあ てく 詫け てに崎 々力会 て り を場いた町て び し 申 ま 開化 で て あだ貴おのる < の気 あ 催祭 議 文 りさ重貸準とさまづ しし しは ŋ 会 上た 化 ま10 がっなし備いんちい L りの協市われが りい年今 ま ての年

た話 点に今 グ 働 民れ 5 1 1 ま活 ほ 取 回 L ル 課 活 つ月 ŋ 合 1 \mathcal{O} 動 し 発 \mathcal{O} 5 に プ 方 セ たな テ 日 組検 に、 がの 1 絞 4 討 Þ 意 ブ る た 会 進 がタ 前 見 V で 行 そ 口 交ル総 لح 同換に勢 内は 役れと ぞ 市 様 が 分28 を 容優 れと 目を先 まなれ民

けつ旧針校ら

てい末がのに

て崎提

も中示

を用

え化反 回 7 祭省 会報 いのの あも りと と 方に ŋ にに 行か名 なつ来

2

たル活不と た。 が能 L 動 L 挙 7 に 用 安 \mathcal{O} て 11] 1 げ 今 に 不 ま 物 と 0 プ は 話 た、 ま 満 Þ 0 旧 か 題 て j で 末 P 11 通 5 が と 崎 地 ょ \mathcal{O} て 熊 公 出 出 Ł 域 か 末 中の 亰 ま さ さ \mathcal{O} っ崎 学 で 複 出 が 通 0 れ れ 伝 た で 数 校 没 な L t ま ま 統 点 \mathcal{O} ののへい 芸 し関

中 で 題 れ ま 多 は L 交 < 通 出 さ \mathcal{O} にた便れ と活しグ利のこ がた 設に④方学さ ③防②買① り ま 組 事 に ★

自災安い生

心物活

回 加 ま 者 ち 募 づ < ŋ 検 討

次 12催参 日 ふ 時 3 時

開

講

開

日 演

12催

月

4

日

木

所午時会

6

時

3 0

分

슺 \star 協末

議崎 会地 よ区 り助 のけ お合 しい

せ

ら

ま

た 3 局ま つがち ・ 環 遊 境 利市 • 利 b 合部学さ活か 便 その優 び 通 会校れ用ら 全 性 れ内先 ŋ 場 築 つのたに旧 は容的 班利のつ末 防 移 次をに 議 文 一活でい崎 の選取会 動 犯 化 て中 通びりし لح * 参 申 主 主 場作 日 加込 全 管 催 所業 時 門

料期 末 末及 時 9 ち込室 料12 ル竹 代月 づ先 村 1 @ とし 上 2 8 < 武 セ15 ブ j Ē 9 り 蔵 ン分 て 吉 5 野 協 タく

体 限代崎ど**哲**崎び会ふ間₁₀12 表グこ2ま申議る 時月 の 時月 髙 さ さ10受14 は₅ 4₀ と時付日 0 0 日 cm 🖽 5 月 で 議 1 1 2

鷹

ボ ツ チ 練 習

案

毎12 金 カ

時 時

所 体る 週月 育さ午金12 室と前曜日 セ10日 ン時 タく 1 1 2

Š な で

ンの動と ピ人か運 ッにし動 クも、不 の簡大足 正単騒 式でぎみ種、! ん Ħ

才年体寒

リ配をい

申らお

前

لح

地

域

名

を

お

11 込 せ 名

期願

限い

ま

月

28

日

金

16

時

大必

会要

予な

定も

日の

12室

月内

26用

日運

金靴

動

す

時